

政策目標9 基礎研究の充実及び研究の推進のための環境整備

概要

学術研究の振興や優れた研究成果の創出・活用の促進を図るとともに、科学技術振興のための基盤を強化する。このため、3つの施策によってその目的の達成を目指す。

主管課（課長名）

研究振興局振興企画課（永山 賀久）

評価

基礎研究の充実及び研究の推進のための環境整備に向けた取組である、学術研究の振興、研究成果の創出と産学官連携などによる社会還元のための仕組みの強化、科学技術振興のための基盤の強化は、想定どおり達成された。

21年度の施策状況

学術研究の振興（施策目標9-1）

研究者の自由な発想に基づく学術研究について、新しい知を生み続ける重厚な知的蓄積を形成することを目指し、萌芽段階からの多様な研究や時流に流されない普遍的な知の探求を長期的視点の下で振興した。

共同利用・共同研究体制等による大学・大学共同利用機関等における独創的・先端的基礎研究の推進、科学研究費補助金の制度改革を通じた優れた研究成果の創出など、各達成目標とも十分に進捗した。

研究成果の創出と産学官連携などによる社会還元のための仕組みの強化（施策目標9-2）

世界最高水準の研究成果や、新たなブレークスルーをもたらす優れた研究成果を生み出すとともに、イノベーションを通じて研究成果を社会的価値・経済的価値として発現させ、社会・国民に還元した。

「戦略的創造研究推進事業」等により、社会への展開が期待される優れた研究成果が創出された。また、大学等における企業との共同研究実績は分野全体としては昨年度と同程度であったものの、例えばグリーン・イノベーション、ライフ・イノベーション等の分野においては共同研究実績が向上しているなど、総じて大学等の研究成果の社会還元は進展した。

科学技術振興のための基盤の強化（施策目標9-3）

先端的な研究施設・設備・機器、知的基盤等は、独創的・先端的な基礎研究からイノベーション創出に至るまでの科学技術活動全般を支える基盤として不可欠なものであることから、その整備や効果的な利用を促進した。

創造的・独創的な研究開発活動を支える先端計測・分析機器実現のコアとなる要素技術及びプロトタイプ機の開発において着実な成果が創出され、先端的研究施設・設備の共用実績や先端的な施設・設備を用いて得られた研究成果実績は増加しており、先端的な研究施設・設備・機器、知的基盤等の整備や効果的な利用の促進は着実に進展した。

22年度以降の政策への反映方針

第3期科学技術基本計画等を踏まえ、引き続き基礎研究の充実及び研究の推進のための環境整備を行うため、科学研究費補助金や戦略的創造研究推進事業等の予算の拡充、国際競争力のある知的財産の創出等を図るための産学官連携体制の整備、知的基盤の整備や先端的な研究施設・機器の幅広い活用（共用）等に取り組む。

関連する政府等の方針（主なもの）

科学技術基本計画（第3期）：9-1（第2章 P11～P12）、9-2（第3章 P29～P30）、9-3（第3章 P36～P37）

新成長戦略（基本方針）：9-1、9-2、9-3（P21～P22）

事業仕分け（H21）：9-2、9-3

教育振興基本計画：9-1（P33）

研究開発システムの改革の推進等による研究開発能力の強化及び研究開発等の効率的推進等に関する法律（平

成20年法律第63号) : 9 - 3 (第35条)

未来开拓战略 (平成21年4月17日内閣府・経済産業省) : 9 - 3 (P27)

革新的技術戦略 : 9 - 2 (P6 ~ P7)

知的財産推進計画2009 : 9 - 2 (P4 ~ P7)